

# アイテム

2011  
春  
Vol.15

公益財団法人  
伊丹市文化振興財団  
TAKE FREE

特集

すごいぞ、

伊丹の三軒寺前広場



## 大好評の連載陣

【芸は身を助く】  
心に愛を！身体にリズムを！

【終演後の一軒】  
男の色気溢れる京風串焼き

【まちなか美術手帖】  
「やけくそ、ふまじめ、ちゃらんぽらん」

伊丹商工プラザの正面玄関ロビーにある地元企業P.Rブース。その上にふと視線をあげれば、市内在住の美術家・鷺見康夫の作品に出会える。赤、青、黄、緑の原色を背景に白い絵具が爆発する抽象画は、閑散とした近代的建物の雰囲気になかに色彩の協和音を響かせる。

01年に商工プラザが開館した際、市に寄贈されていた作品のなかから選ばれて展示された。鷺見の作品は、その他にもシティホテルやいたみホールをはじめ市内の施設数カ所に展示されており、市ゆかりの作家を代表する存在である。

そろばんやパイプレーターをつかって画面にのせた絵具をかき回すという独自の手法で、無意識にかつ瞬間につくるダイナミックなスタイルは、もう50年以上続けられている。「私の作品はやけくそであり、ふまじめであり、ちゃらんぽらんである」と語る言葉には、自己の内面にひそむエネルギーを解放させ、画面にぶつけることで、しがらみのない人間の真の姿、自分自身のありのままを表現

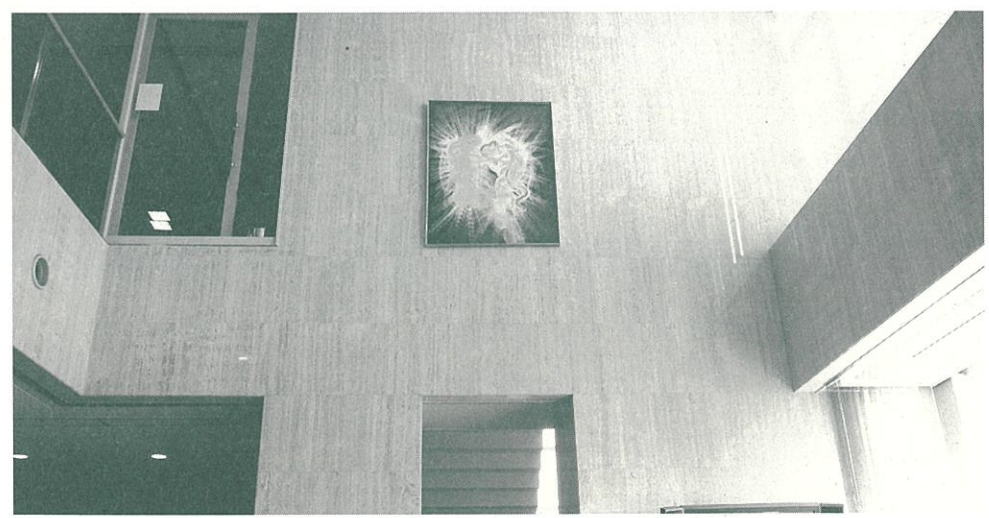
## 「やけくそ、ふまじめ、ちゃらんぽらん」



戦後美術のグループ「具体美術協会」のメンバーであり、世界各国での展覧会に出品、美術館に所蔵される。昨今もイタリアなどでパフォーマンスを行う。伊丹市芸術家協会会員であり、市立美術館では01年に個展を開催。《作品》1958年、市立美術館所蔵

したいという信念がある。この Motto は、今年で86歳を迎えるが、いつもニコニコと明るい笑顔で現れ、とどまることなく精力的に制作にとりくむ、そんな底知れないエネルギーを持ちつつけられる秘訣でもあるのだろう。

一見、目立たない場所にある作品。しかし、気忙しく行き来する人々に、「もっと、やけくそ、ふまじめ、ちゃらんぽらん」に生きてみては？」と笑いかけながら、高みの見物をしているのではないだろうか。



【取材と文：岡本梓】伊丹市立美術館所属「風刺とユーモア」をコンセプトとする美術館にふさわしく、伊丹をナナメから見る「理論よりも感性」な現場肌の学芸員。専門は近現代美術。「小学校の頃通った公園のミモザがすごく大きくなってキレイだった。今も残ってるけど、あの頃より小さく元気がない。お互い、歳をとったのね…」

伊丹市ふるさと寄附

ご寄附を通じて、ふるさと伊丹を応援してください  
伊丹市では「夢と魅力のあるまち伊丹」の実現に向け、様々な施策に取り組んでいます。寄附金の活用は「芸術・文化」「スポーツ」など10テーマからご指定いただけます。

【お問合せ】伊丹市総合政策部政策室 TEL.072-784-8007 <http://www.city.itami.lg.jp/furusaitoiami.html>

学芸員が美術館から飛び出し、伊丹のまちなかにたたずむアート作品を紹介。普段何げなく見ていたものが実はすごい作品だったんです。

# まちなか美術手帖

【伊丹商工プラザ×鷺見康夫】





なんだ、  
この広場!?

特集

# すごいぞ、伊丹の三軒寺前広場

さんけんてら

取材・文：中脇健児

道路のような公園のような… 中途半端とツツコムなかれ。日々表情を変える広場は伊丹の情報発信地だったのです。

## 新酒を祝う祭りの拠点

「どこで買おう」「いらっしやいませ〜」  
「玄米おにぎり、一個100円やで〜」。あ  
ちこちから立ち上る湯気、トロンとした甘  
酒の香り… 買い物袋を下げながら食べ歩  
く人で賑わう。清酒発祥の地が誇る、新酒を祝う「白雪蔵ま  
つり」だ。



小西酒造が中心だが、15回数えるうちにNPOがイベントを  
同時開催し、地元商店、高校生、作業所が出店しはじめ、今で  
は伊丹の冬の風物詩になった。その中心地であり、異業種をつ  
なぐ場が三軒寺前広場。「今日は何してるん?」「せっかくなら  
買って行きいよ」「試食あげるわ」。お祭り目当てだって、知り  
合い目当てだって、通りすがりだってなんでもかまわない。そんな  
懐深さをひしひしと感じさせてくれる。

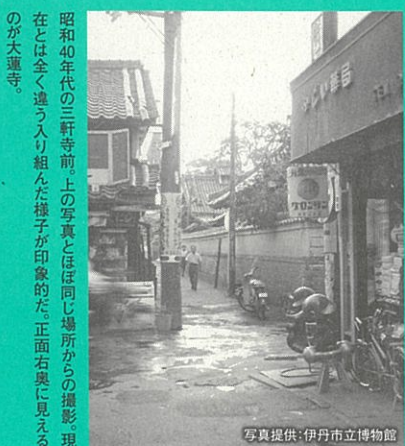
## その歴史、30年前に始まった。

お寺が三つ並ぶから「三軒寺前広場」。JR伊丹と阪急伊丹  
のちょうど真ん中にぽっかりと現れる、こんなスキマが街にあ  
るのがうれしい。  
昔からある広場と思いきや、この界隈、もとは住宅が密集



し、路地が入り組んでいた。実は昭和58年に  
JR伊丹駅と宮ノ前地区の再開発の一環で計  
画された広場で、現在の趣きになったのは平  
成2年ごろ。徐々にイベントに使用され、平成  
16年には国から地域再生計画(伊丹郷町再生  
計画)の認定を受けた。道路使用許可手続き  
の簡素化や電源確保の整備が行われ、地元の  
祭り、音楽イベント、落語会、野菜市、クラフトマーケットなど  
が開催され賑わうこととなる。  
「街に回遊性が生まれるように」と願った30年前の伊丹の夢  
が現実となったのだ。

## ちょっと懐かしの思い出



写真提供：伊丹市立博物館

## ちなみに…

取材中、「駄菓子屋 福西」(正面左)、「ふじい薬局」のサトちゃん人形(右手前)は、色んな人の思い出話に何度も出てきました。今は大人  
の伊丹っ子にとって、この場所は特別な場所だったんですね。





刻一刻と表情を変える広場の一日を眺めてみました。

# なんでもない日、万歳

8:00

通勤通学前の人たちが  
早足で行き交う。  
阪急とJRを結ぶ道の  
まんなかにあるからその  
風景だ。

9:00

正善寺の月影幼稚園に  
園児が続々と  
お見送りのお母さんたちが  
井戸端談義に花咲かす。



10:00

老松酒造の井戸水が  
汲む人が長蛇の列に。

13:00

何にもおこらない。  
本当に何にもおこらない。

12:00

屋ごはんのお店を探さず、  
ベンチでタバコを一服する...  
サラリーマン・OLのお昼休みだ。

11:00

人通りは、まばらな中、  
郵便配達、宅急便が  
午前の配達に走り回る。

14:00

園児たちのお帰り。  
お出迎えのお母さんが  
集まってくる。賑やかな一時だ。



15:00

広場で自転車の練習をする青年。  
アクロバティックな動きに  
思わず目を奪われる。



16:00

日が傾きはじめ、  
犬の散歩もちらほら。  
小学生が犬と遊んでいた。



17:00

自転車や買い物袋を  
手にした人が増えてきた。  
そろそろ夕食の支度だ。  
主婦たちの行く姿が  
あわたしい。

18:00

着飾っている人を多く見かける。  
そうか、今日はいたみホールで  
コンサートだった。

19:00

仕事帰りの人が増えてきた。  
軒を連ねる飲食店が  
賑わいはじめます。

...とつぷりと日も暮れて、さっとこれから千鳥足の人が歩くんだろうなあ。

## うちら、毎日見てまっせ

今も昔もずっとここで商売してるから、知ってる魅力があるんです



ちゃんまげを結っていた歴史を持つ  
ヘアサロンオオヤマの大西さん親子



先代は紳士服、今は婦人服の販売をする  
Plaisirの雑賀さん



広場掃除は日課の  
クロスロードカフェの荒木さん

# わたしたち 三軒寺の住職です。

広場に面した三つのお寺。住職さんにも登場いただきました。

何事も誠意。  
一対一の顔の見えるやりとりを  
大切にしております。



副住職 平松幹郎さん

だいれんじ  
大蓮寺

仏の教えをどう伝えるか。  
そこを工夫するのが  
私の楽しみです。



住職 三木正道さん

しんぜんじ  
正善寺

精一杯生きることを大切に。  
仏の教えを普段の暮らしに活かしていただければ  
嬉しいですね。



住職 伊藤真澄さん

ほうがんじ  
法嚴寺



1587年開山。元禄年間(1688~704)  
から伝わる「川辺西国観音霊場三十三所」  
の三十一番としての観音像を安置する。三  
つの中では一番新しいが、現存する浄土宗  
系の本堂の形態では市内最古。地名の由来  
ともなる守護大名の一族、伊丹氏のお墓が  
ある。五輪の塔であったが、震災後破損し今  
は修復される。本尊は、阿彌陀如来立像。



本堂は、震災で鉄骨造りになったが、山門の  
薬師門は17世紀初期のもの。敷地内にある月  
影幼稚園の廊下も木造建築の味わいが印象  
的である。開山の年は諸説あり、1589年~  
1633年の間と。本尊は阿彌陀三尊立像。ち  
なみに門前に貼り出される「仏の教え」は正吉と  
善太のかけあいによって説かれている。オチまで  
ついた見事な構成は住職自ら考える。



三つの中で最も古い歴史を持ち、本尊の  
阿彌陀如来坐像は快慶作と云われる。もとも  
とは毘陽寺の塔頭であったが、法嚴寺として  
1522年に移ってきた。通称、楠木寺と呼ば  
れるように敷地にある楠木は近畿3大クスと  
して、市の文化財認定第一号に。現在、楠木  
が弱ってきており、保護の観点からお寺は常  
時閉門中。

## 寺ズバツ

ウワサの真相

**正 法嚴寺前の  
お地蔵さんは救世主!?**

火事の恐怖や被害が今とは比べら  
れない昔、「火事よ、火事よ」と声が  
響き、大災害から町を救った。調  
べるとお地蔵さんが見つかった  
のだ。それ以来、火除地蔵と奉ら  
れた。ことおの火傷が早く治ると  
云われている。

**正 お寺が集まったワケは?**

実はここは伊丹城の西端に位置す  
る。他所の寺町と同じように、寺院  
を都市の外縁にまどめ、攻撃の際  
の盾とする意図があったのだ。入り  
組んでいた街のつくりも自衛のた  
め、戦国時代の名残を感じる。

**正 三軒寺は四軒だった!**

実は明治ごろまで、広場を挟んだ  
法嚴寺の向いに、お寺がもう一軒  
あったのだ。名は行善寺。実は市東  
部の森本に移転したのだ。元々法  
善寺という廃寺があり、村より請  
われたとのこと。



春と秋の年2回開催。第4回は5月21日(土)開催。前売3千円。



「関西人は  
スペイン人?」と思うほど  
関西人はバル好き!

伊丹市都市企画室  
鎌野さん



しっとり楽しめる  
街の良さを  
感じてください。

伊丹市昆虫館  
坂本さん

**突然あらわれる  
虫のサウンドスケープ**  
残暑のころ9月初旬、まちぐるみでスズミシなど虫の音色を楽しむ「鳴く虫と郷町」。ここでは木々に虫カゴが数十個吊るされる。涼しき感じさせる日没後、「チッチロリ...」とマツムシやキリギリス、カナタキなどの声があちこちから聴こえてくる。野山に行かなければ聞けない虫の音色をまちなかで楽しむ贅沢。夜な夜な近所の人が思い思いの時間を過ごす。そんな静かなイベントだつてあるんです。

**関西飲み歩きブームは伊丹から**

5枚つづりのチケットを片手に7000人が「日飲み歩く。お酒と軽食がつく破格のセットに「これホントに600円相当!」と驚きの声があがる。こも行列が絶えない「伊丹まちなかバル」だ。発祥は函館だが、伊丹の盛り上がりウワサとなり、関西一帯に飛び火した。広場は当日本部となり、全90店のバルメニューや売切れ速報が掲示板に貼り出される。「どこならすぐ食べれる?」「その店のオススメですよ。参加者同士のやりとりも楽しさのついでである。

※バルとはスペインの飲み街のこと



他にも岡城跡史跡公園やスカイパークで開催。

準備は大変やけど、  
色んな人が通るし、  
知り合いも増えるから  
楽しいね



サポートスタッフの  
ナリさん(左)と樋下さん(右)

**音楽と  
コラボする**  
「この風景にあうバック  
ングができた時が一番うれ  
しい」とスタッフの樋下善  
弘さんが語るように、毎  
年夏から秋にかけて開催  
する「伊丹オトラク広場」  
は、大きな木が何本があ  
る立地に目をつけた。木  
陰に機材や客席をセッ  
ティングし、ステージに広  
場の風景を取り込む。頬  
を撫でる風や葉の擦れる  
音は自然が生んだBGM  
だ。落ち葉舞う中のジャ  
ズ、日没の境目に演奏す  
るフランスミュージックな  
ど、音楽が風景に溶け込  
む様子が「贅沢やなあ」と  
立ち止まる人は多い。

# 三軒寺はボクらのステージだ。

お祭り、虫イベント、マルシェなど三軒寺前広場のすごいイベントに注目!

## 「伊丹って祭り好きやなあ」ってよく言われます。 三軒寺前広場 event collection イベントコレクション

昨年開催されたイベントの一部です。

- 毎週火曜に開催されるレギュラーイベント?!
- 野菜市场
- 所せましと並ぶアートの青空市
- クラブ&アートマルシェ
- ふとん太鼓をかつげかつげ
- 秋の宮前まつり
- 街のど真ん中で木星が
- 鳴く虫と星見会
- ついに読書もイベントに
- どこでも図書館
- 〜街かどcafeでゆったり読書〜
- 青空で行われるアマチュア話芸フェス。
- ストリート落語
- 伊丹のだんじり、ふとん太鼓が集結
- だんじり太鼓フェスティバル
- 伊丹には駐屯地があるんです
- 陸上自衛隊中部方面隊創隊50周年記念行事野外イベント
- 世界初のビールとフードが集まった
- インターナショナル・ビールサミット
- アートフリーマーケット
- 蔵富都タウンミュージアム
- 園芸よりどりみどりのマーケット
- 早春花のフェスティバル
- 踊りと祭り元気モリモリ
- いたみわっしょい

星空の下で  
美味しい伊丹のお酒と  
お料理を  
味わってみませんか



NPO法人いたみタウンセンター  
内田さん

**ノスタルジックな  
縁日の匂い**  
夏の夕暮れ時、吊るされた裸電球が一音に灯され、屋台から威勢の良い声が響く。テールとイスの代わりに組まれた酒樽とビールケースは、たちまち人で埋まってくる。清酒発祥の地のイベントとして、NPO、市民、地元酒造会社や飲食店が協力して行う「酒樽夜市」。その開放感に魅せられ仕事帰りのサラリーマンから家族連れまで幅広く集う。日本酒カクテルといったご当地メニューのみならず、猪名野神社のふとん太鼓もお披露目され、地元愛がトコトン詰まった様子が微笑ましい。



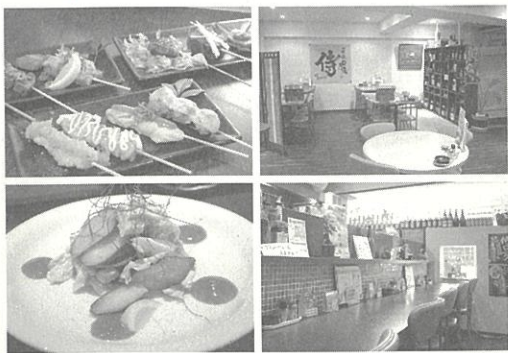
今年も夏ごろ開催予定。  
詳細未定



伊丹には感動の余韻を楽しませてくれるお酒と料理がちゅんとありました。

# 終演後の一軒

A DOOR AFTER THE SHOW



小エビの天ぷら、豆乳豆腐鍋など一品料理が豊富。日替替弁当(コーヒー付、ランチタイムのみ)780円。京風串焼きコース10本1,700円。17:00~19:00限定のお得な「侍ほろ酔いセット」1,000円。宴会には京野菜の鍋コースやオードブルのコースも。

6/10(金)~6/12(日) □会場:アイホール  
アイホールダンスコレクションvol.65 Take a chance project026  
KIKIKIKIKIKI「ぼく」

## 個性豊かなオトコたちのダンス!

撮影 阿部綾子



ダンスらしくない体型やキャラクターを好んで起用し、独特の世界観を追求するダンスカンパニーKIKIKI KIKIKI。新進気鋭

の振付家きたまりが、今回は舞台俳優も起用して、個性豊かなオール男性キャストでダンス作品を創作する。

6/10(金) 19:30、6/11(土) 15:00、6/12(日) 15:00、<予定>  
一般2,500円、学生&25歳以下&60歳以上2,000円(当日各300円増)  
072-782-2000

事前インタビューによって構成された言葉と、男ならではのカラダが放つ身体表現によって、出演者一人一人の生き様が立ち現れてくる。そんな男たちの魅力を堪能した終演後、いかにも男らしい名前に惹かれ「京風串焼き侍」へと向かう。

JR伊丹駅を越えてすぐ、マンション群の麓にある飲食店街。その一角にある「侍」は背も高いダンディ&ナイスミドルなご主人を筆頭に、清楚な白壁の外観に和風でモダンな店内、店員さんも女性ばかりでオシャレな雰囲気だ。ご主人の田中さんは音楽の世界で活躍した後、鍋料理や、鴨料理など和食の道を歩いてきた。そんな人生経験が醸し出すジェントルかつ気さくな人柄で店内はいつも和気あいあいとしている。「お店の人との距離が近いところがいいね」と常連さんも太鼓判を押す。

看板の「京風串焼き」は、しそ梅肉、ゆず胡椒マヨネーズ、田楽みそ、わさびなどの特製ソースで食べる焼き鳥や野菜に、ソース・レタスなどの創作串が揃う。女性に人気のランチタイム限定

## 男の色気溢れる

### 京風串焼き



京風串焼き 侍

東有岡1-18-1 TEL.072-770-5501 日休  
ランチ11:30~13:30、ディナー 17:00~22:30(ラストオーダー)

「日替替弁当」や、彩りも綺麗な「蒸し鶏ときゅうりの梅肉」季節のデザートからは、きめ細やかな味付けと盛り付けが楽しめる。

料理の世界に入ってからギターも触っていないというご主人だが「一押しブルースバンドのライブをお店で聞くなど、音楽とのいい関係は継続中で、これからの東有岡をますます盛り上げてくれる、そんな予感がした。



「ゴスペル教室」発声はもちろん楽しんで歌うをモットーに初心者の方から年齢を問わず練習中。

講師:YuKiNa(ゴスペルシンガー)月曜日開講。午前クラス11:00~午後クラス13:30~各90分。

練習場:伊丹アイフォニックホール(小ホール) 申込・問合せ:伊丹アイフォニックホール(水曜休館日) 072-780-2110

## 心に愛を! 身体にリズムを!

歌って踊れる職員と銘打っておきながら、本格的に歌ったのは最後の舞台の千秋楽!?な反省もあり、新たな分野ゴスペルに挑戦しました。

パートはアルトに。しかしメンバーがお休みにハモリで一人ぼっち、責任重大です。それよりもカルチャーショックだったのは五線譜がない! カラオケが苦手なおたまじゃくし依存人間には、横文字が居並ぶ歌詞カードを前に「これ?!」を連発してしまいました。

ご当地の方達は楽譜の読めない人が多く、口伝だった為、今もその方法なのだそうです。

YuKiNa先生が傍で歌って下さる音を頼りに、譜割りされてない英語をはめる作業に悪戦苦闘。

アイドルな先生を一人占めしてしまいました。耳福でしたよ~。先生の声、私大好きですし、憧れるパワーとツヤ感です。

歌詞に矢印、記号、カナを書き込み、言葉に集中する内、歌が語るように馴染んできました。神様へのメッセージだものな、と。日本人は下向きに拝む意識がありますが、ゴスペルは天を仰ぎ伝えたいのも解る気がします。

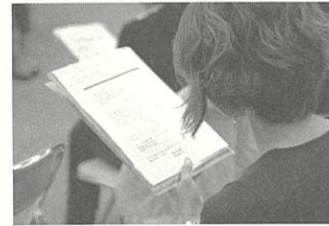
キリスト教の曲というイメージが先行していたのですが、メロディも美しく、身体と感情が自由に動いていく、この解放される感覚に後押しされて、願わくば、このボンコツな喉も解放されてもっと強い発声ができるようになりたいなあ。



賢沢な先生の個人レッスン。仕上がりかけにお邪魔してすみません。出来なくて楽しかった先生マジック!



皆さんパワフルな声!先生の明るさが練習を盛り上げます。コラボ私と下とに身体を引っ張るイメージはどこに?緩みすぎ...



自分だけにわかる書き込みみただけでそれぞれのマイ歌詞カードに。必死のバッチ。

## 財団四季の



伊丹市文化振興財団・加藤四季。歌って踊れる「財団四季」がまちへ飛び出し、あらゆる教室やスクールに挑戦するトツゲキ系連動。



6・12(日)～6・26(日) **伊丹の美術家による競演**

一年に一度の伊丹美術協会の会員による作品展を開催いたします。洋画・日本画・写真・書・彫塑・工芸・デザインと、多様なジャンルの作品が一堂に介します。活気溢れる作品をぜひお楽しみください。



【平成23年度 伊丹美術協会展】  
6/12(日)～6/26(日)。10:00～18:00(入館は17:30まで)。  
入場無料。072-772-7447

8・10(水)締切 **作品募集! 主題は「ジュエリー」**

毎年開催する国際公募展「伊丹国際クラフト展」の作品を募集します。今年のテーマはジュエリー。入賞・入選者の作品は11月～12月の展覧会で展示されます。素材の規定はありませんので、皆さんの自由な発想の作品をお待ちしています。



公募「2011伊丹国際クラフト展「ジュエリー」」  
エントリー締切8月10日(水)。詳細要問合せ。  
要項請求は工芸センターまで。072-772-5557

6・11(土)～7・10(日) **縦に書け! 石川九楊の書と盃**

日本を代表する書家であり、書道史家としても高い評価を得ている石川九楊。1,000枚の盃1枚ずつに文字を書いた「盃千字文」など、従来のイメージを超えた様々なスタイルの作品が並ぶ。奥深い書の世界を楽しみたい。



【石川九楊展】  
6/11(土)～7/10(日)。10:00～18:00(入館は17:30まで)。  
無料。072-772-5557

6・18(土) **交響曲の世界をピアノ1台で!**

膨大なレパートリーを誇り、独自の演奏とトークで人気のピアニスト田尻洋一。同氏オリジナル編曲、ベートーヴェン交響曲全9曲がついに登場! 第1回を「田園」で飾る。壮大なスケール、圧倒する迫力! 怒濤の幕開けをお楽しみに!



【田尻洋一トーク&ピアノコンサートシリーズin伊丹vol.49】  
田尻洋一編 ベートーヴェン交響曲のすべて Part1 田園  
6/18(土) 14:00。2,000円。072-778-8788

※イベントにより、未就学児童の入場の制限等がある場合がございます。詳細は各ホールへお問合せ下さい。※いたみホール、アイホール、ラスタホールは火曜日休館。伊丹アイフォニックホールは水曜日休館。美術館、工芸センター、伊丹郷町館、柿衛文庫は月曜日休館。(祝日にあたる時は翌平日)

**アイテム**

2011年4月1日発行(季刊春号・通巻68号)  
発行:公益財団法人 伊丹市文化振興財団  
編集:アイテム編集委員会  
表紙イラスト:ニシワキタダン  
デザイン:三澤敏博(絡線堂)  
〒664-0895 伊丹市宮ノ前1-1-3  
伊丹市立文化会館「いたみホール」内  
Tel.072-778-8788 Fax.072-778-8585  
http://hccweb1.bai.ne.jp/itamihall/zaidan  
Email→itamiki-kikaku@bcb.bai.ne.jp



<配布場所>市内・近隣の文化施設でお取りいただける他、こんなところで配布協力いただいています。アリオ1&2、伊丹酒蔵通り、ひがし商店街、タミータウン、宮ノ前商店街、ビバ伊丹、三軒寺前広場周辺のお店、伊丹シティホテル...ほか市内各所

ラスタホール 併設有料駐車場 約30台  
市立宮ノ前地下有料駐車場ゾーンのご案内  
伊丹アイフォニックホール B・Cゾーン  
いたみホール A・Fゾーン  
みやのまえ文化の郷 Cゾーン

チケットプレゼント  
「キャバレッツ〜シャ・ノワールのナイトミュージック〜」 5/21(土)17:00。<伊丹アイフォニックホール> 2組4名。5月1日必着。  
「陶酔のバリ・モンマルトル1880-1910」 4/16(土)～6/5(日)。<美術館+工芸センター> 5組10名。5月1日必着。

プレゼントをご希望の方は、はがきまたはEメールで郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号、アイテムの感想をご記入の上、上記文化振興財団住所宛「アイテムチケットプレゼント係」まで。当選の発表はチケットの発送をもってかえさせていただきます。

3館合同企画 音楽と絵画のコラボレーション  
**華やかなりし、往時のパリへタイム・トリップ!**



現企画など盛りだくさん。伊丹のまちが、華やかなりし往時のパリに変身します。その他会場では、名店のフランス菓子や、「黒猫」アッスの販売「ロートレックの料理の再現」など盛りだくさん。伊丹のまちが、華やかなりし往時のパリに変身します。

美術館+工芸センターと、音楽ホールがタイアップ! 20世紀初頭のパリ。芸術家たちが集う「キャバレー」「シャ・ノワール(黒猫)」では、連日連夜、展覧会やコンサートや芝居が繰り広げられ、新進の芸術家や作家達の活動拠点になっていました。



展覧会+コンサートのコラボ割引チケット販売! [5/10まで] 一般3,000円、学生2,000円。名店フランス菓子付。

4・6(土)～6・5(日) **展覧会**  
(美術館+工芸センター / 072-772-7447)  
【陶酔のバリ・モンマルトル1880-1910】  
4/16(土)～6/5(日)。  
10:00～18:00(入館は17:30まで)。  
一般700円、大高生350円、中小生100円。  
<美術館+工芸センター関連企画>  
4/17→講演会「モンマルトルのエスプリ:ユーモア、キャバレー、前衛」  
5/14→トーク「シャ・ノワールの時代の音楽事情」

5・21(土) **コンサート**  
(伊丹アイフォニックホール/072-780-2110)  
「キャバレッツ〜シャ・ノワールのナイトミュージック〜」  
5/21(土) 17:00。  
出演:深川和美(歌)、鶴来正基(ピアノ)、鈴木孝紀(クラリネット)。  
一般2,500円、学生2,000円(当日各500円増)。  
<音楽ホール関連企画>  
5/21→ディナー「ロートレックの料理を再現!コンサート後のフレンチディナー」  
4/15、5/13→ワークショップ「みんなで歌おう!世界の愛唱歌」

5・21(土) 5・22(日) **戯曲講座、一年間の集大成**

北村想塾長のもと一年間筆を磨いてきた伊丹想流私塾15期生の卒業公演。今年の課題は「最も短い戯曲」。10名の劇作家の卵たちが、研ぎ澄ました台詞による超短編戯曲の上演に挑みます。新たな試みと新しい才能の登場にご期待下さい。



伊丹想流私塾第15期生公演「正義の味方」  
5/21(土) 19:00、5/22(日) 14:00。1,200円(当日300円増)。  
072-782-2000

4・23(土) **市川崑監督の幻の逸品**

ヴェネチア映画祭で、あまりの美しさに冒頭の雨のシーンから拍手喝采された伝説の名作。男に束の間の幸せと可愛い娘を与え、去ってゆく女を描いた、美しく不思議な哀切の物語です。主演、浅野ゆう子、中井貴一。原作、山本周五郎。



「ラスタ映画倶楽部 その木戸を通じて」  
4/23(土) 10:00-14:00-18:00。一般800円、高校生以下・60歳以上600円(当日各200円増)。072-781-8877

5・28(土) **ピアノ演奏を味わいつくす**

多彩な表現力を持つ実力派ピアニスト西川真のジャズあり、クラシックあり、映画音楽ありの充実のプログラムです。リクエストコーナーでは皆様の投票で選ばれた曲を演奏。曲目:渚のアデリーヌ、A列車で行こう、「花」滝廉太郎 他



【西川真ピアノライブ 音楽アラカルト】 5/28(土) 14:00。  
一般1,200円、高校生以下・60歳以上1,000円(当日各200円増)。  
ソフトドリンクサービス有り。072-781-8877

5・27(金)～5・29(日) **演劇の新しい地平を拓く話題作**

2010年岸田戯曲賞受賞の話題作がアイホールに登場です! 人間が生まれて死ぬまでの百年。地球が生まれて死ぬまでの百億年。ある女の子の一生と星の一生が重なり合う。音楽と歌とラップで語られる新しい音楽劇を、どうぞお見逃しなく。



【ままごと「わが星」】  
5/27(金) 19:30、5/28(土) 14:00-19:00、5/29(日) 14:00。一般3,000円(当日500円増)、高校生以下1,000円(前売・当日共)。072-782-2000